

## 次なるステージへ、半導体製造装置の生産体制を強化 ～2023年1月より新工場の操業を開始～

株式会社SCREENホールディングスは、中長期の生産整備計画「彦根グランドデザイン」に基づき、彦根事業所内に新工場となる「S<sup>3</sup>-4（エス・キューブ フォー）」建設を中心とした設備投資を決定しました。新工場の操業開始は2023年1月を予定しています。

生産能力強化および生産効率向上を主眼に置き、2018年に策定し進めてきた中長期の生産整備計画「彦根グランドデザイン」。その一環として、このたび設備投資を前倒しで実施することを決定しました。総工費は100億円規模となり、新工場「S<sup>3</sup>-4（エス・キューブ フォー）」建設のほか、生産能力増強に伴う廃液処理や人員増加のための施設拡充、既存設備の改修、厚生施設の建設なども行います。半導体製造装置事業としては、2019年1月に竣工した「S<sup>3</sup>-3（エス・キューブ スリー）」以来の工場建設となります。

今回の設備投資の中核となるS<sup>3</sup>-4は、枚葉式洗浄装置「SUシリーズ」の主力工場であるS<sup>3</sup>-3に連結される予定で、S<sup>3</sup>-3で生産された装置やユニットの出荷前洗浄工程を強化することで、生産開始から出荷まで従来に増して効率の良い生産フローを実現します。

近年、5G対応スマートフォンの普及や、DX（デジタルトランスフォーメーション）の進展に伴うデータセンター需要の拡大に加え、EV、自動運転などの車載関連、産業機器を中心としたIoTインフラの急速な普及により、半導体デバイスの需要が世界規模で増加しており、大手デバイスメーカーでは高水準の設備投資が続くと予想されています。

当社は、「彦根グランドデザイン」をベースに、好況が見込まれるデバイスメーカーへの製造装置の安定供給を果たすとともに、SBT<sup>※</sup>の達成に向け、今回の設備投資における再生エネルギー採用、空調設備更新など、省エネルギー投資も継続的に進めてまいります。

### <新工場の概要>

名称：「S<sup>3</sup>-4（エス・キューブ フォー）」（S<sup>3</sup>はSafety、Smart、Speedの頭文字）  
所在地：滋賀県彦根市高宮町480-1  
建築面積：約5,285平方メートル  
延床面積：約9,625平方メートル  
構造：鉄骨造 地上2階建  
総工費：約100億円（今回の設備投資全体の金額）  
操業開始：2023年1月予定  
主な業務：主力製品である枚葉式洗浄装置の生産など

※ SBT（Science Based Targets イニシアチブ）

科学的根拠に基づいたCO2排出削減目標の設定を求める、地球温暖化防止に向けた国際的なイニシアチブ